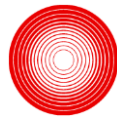




理事長 森富士夫



MOA
INTERNATIONAL

一般社団法人 エム・オー・エーインターナショナル

住所:静岡県熱海市田原本町9-1 熱海第一ビル9階
電話:0557-84-2110(代表) フリーダイヤル0120-184-219
<http://www.moainternational.or.jp>
<http://www.moa-natural.jp>

□ 心身ともに健康な人づくりを願って

私たちは、グローバル化する世界の中にあつて、財政の切迫、地方消滅や少子超高齢化が進む日本の社会に暮らし、医療や福祉、そして人々のつながりなどの転換点に立っています。

そして、病院完結型医療から在宅医療などを強化する地域包括ケアへ、治療重視の医療から予防や健康増進へ、公助を中心とした社会保障から自助を支える新たな共助システムへと、価値観や仕組み、行動を変えようとする動きが始まっています。

私たちは、市民一人ひとりの素朴な願いである「健康」や「幸福」の実現にむかつて、さまざまな方々や団体と連携、協力して取り組もうと微力ながら努力しています。

特に、より良いライフスタイルや生き方、人生を求める人々に向けた、①新たな治療スタイルの模索。②生命をみつめ、健康な生活を築き支え合う絆のコミュニティづくり。③さらに、心身の健康に直接影響する農業や食、そして芸術などの事業に取り組んでいます。



「これからの医療とまちづくり」
国際シンポジウム (昨年 4/25~26、東京・京都)

□ 新しい医療をめざす療院

療院では、「生活習慣の改善支援」、「治療だけでなく、病気の予防や健康増進の寄与」、「患者の体質、生活環境、生き甲斐などに配慮したQOLの重視」、「有意義な人生を送り、穏やかな死を迎えるための包括的なサポート」、「自然治癒力の尊重」、「医療経済や環境などを配慮」した医療をめざし努力を積み上げています。



アートヘルスケア (いけばな体験)

現在、全国11ヶ所の「療院」では、全人的な視点での治療方針を提案し、病気の予防や健康増進を支援する統合医療を実践しています。具体的には、クリニック部門での西洋医学的な診察に加えて、岡田式健康法（浄化療法、食事法、アートヘルスケア）をはじめ、「運動療法」「園芸療法」「指圧療法」「音楽療法」などを組み合わせます。またボランティアと連携して、患者の生活習慣の改善を支援しています。



東京療院(港区高輪)

□ 地域の健康づくりを進める健康生活ネットワーク

MOAおよび関連団体では、ボランティアを養成して地域の健康づくりに取り組んでおり、浄化療法の療法士や美術文化法のインストラクター、美育指導員、食育指導員などの資格制度を整えています。

資格を持つ会員は、療院でのボランティア活動のほか、主に市町村単位でつくられているボランティアグループ「健康生活ネットワーク」と協力しあい、厚生労働省が提唱する「健康日本 21」の主旨に添って、行政や市民とともに「健康増進セミナー」や料理教室、食セミナー、花のいけこみなどの活動を行っています。

そして、地域の人々の生活習慣の改善をサポートし、病気予防や健康増進を求める市民の「ここからだの健康」づくりに貢献しています。



食育セミナー（料理教室）



家庭菜園セミナー



美育活動（茶の湯体験）

□ 自然農法・自然食事業

自然農法では、全国約 300 の普及会で、農家や消費者等を含む約 1 万人の普及会員が活動しています。さらに、公益財団法人「農業・環境・健康研究所」を中心に、農業と環境、農業と健康の連携事業も進めています。



田んぼの学校

静岡・大仁農場（100ha）では、農業技術の研究のほか、自然農法大学校を設けて自然農法実施者を養成しています。また、農業体験を通して不登校、ニートを受け入れるフリースクール「MOAスクール」を行っています。さらに「畑の学校」「田んぼの学校」など、子ども達への食育プログラムも広く実施しています。

また、農林水産省の補助事業として、全国の有機農業に関する生産、流通などの基礎データを収集し、その分析結果を取りまとめ、有機農業の推進、拡大に協力しています。

□ 美術・文化事業

1952 年に完成した箱根美術館は、秋の紅葉など庭園の美しさで知られ、1982 年に熱海に完成したMOA美術館は、「紅白梅図屏風」をはじめとする国宝 3 点と重要文化財 65 点など約 3500 点を所蔵する東洋美術の宝庫として知られ、国内外から多くの来館者を迎えています。

また、子どもたちの美意識の高揚と健全な成長を願って、1989 年（平成元年）から継続している児童作品展には、毎年多くの応募があり、優秀者には文部科学大臣奨励賞、外務大臣賞などが贈られ評価されています。2015 年の第 27 回作品展では、国内外から 8953 校・452,759 点（国内においては全国の小学校数の約 40%、児童数約 6%）から応募があり、国内最大級の作品展となっています。



全国児童作品展

このほか、美術館学芸員が学校を訪問して授業を行う「出張授業」、いけばなや茶の湯体験教室などを開催し、子どもたちが本物の「美」に触れる機会を作り「美育」を広げるスクールプログラムを実施しています。